

予 算 要 求 資 料

令和 4 年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 「新・岐阜の宝もの」プロジェクト推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111 (内 3149) E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,954 千円 (前年度予算額： 2,300 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,300	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	8,954	0	0	0	0	0	0	0	8,954
決定額	8,954	8,954	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

コロナ禍において世界中でSDGsへの関心が一層高まりを見せる中、本県がアフターコロナにおける「選ばれる旅先」となるためには、サステイナブル・ツーリズムを牽引する観光資源として、これまで認定してきた「岐阜の宝もの」等の更なる磨き上げが必要となる。

そのため、サステイナブル・ツーリズムの観点を導入した新たな認定基準に沿ったブラッシュアップの取組を支援し、持続可能な観光地づくりに対する地域の機運醸成につなげるとともに、新たな「岐阜の宝もの」の魅力を広く国内外に発信し、誘客促進及び観光消費額の拡大を図る。

(2) 事業内容

- ① 「新・岐阜の宝もの」PRツール制作 (3,703 千円)
- ② 「新・岐阜の宝もの」プロモーション (3,003 千円)
- ③ 「新・岐阜の宝もの」認定委員会開催 (2,248 千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

県が推進する「飛騨・美濃じまん運動」の一環として「岐阜の宝もの」プロジェクトを展開するものであり、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	210	「岐阜の宝もの」認定委員謝金
旅費	330	「岐阜の宝もの」認定委員、職員旅費
委託料	8,414	PRツール制作、プロモーション等
合計	8,954	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
- 3 地域にあるれる魅力と活力づくり
- (2) 次世代を見据えた産業の振興
- ④ 観光産業の基幹産業化

(2) 国・他県の状況

「岐阜の宝もの」は岐阜県独自の事業である

(3) 後年度の財政負担

県が推進する「飛騨・美濃じまん運動」の一環として「岐阜の宝もの」プロジェクトを展開するものであり、今後も継続する

(4) 事業主体及びその妥当性

県が推進する「飛騨・美濃じまん運動」の一環として「岐阜の宝もの」プロジェクトを展開するものであり、妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

SDGsの理念に即した新たな認定基準に基づく取組を進めることにより、「岐阜の宝もの」を本県のサステイナブル・ツーリズムを牽引する観光資源としてブラッシュアップするとともに、その魅力を国内外に発信し、誘客促進及び観光消費額拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
観光消費の経済波及効果						%
観光入込客数（実数）						%
外国人延べ宿泊数						%

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>新たな「岐阜の宝もの」選定に向け認定委員会を開催し、候補資源の現地調査を実施するとともに、新たな認定基準について協議した。</p> <p>SDGsの理念に即した新たな認定基準を設定し、それに基づく新たな「岐阜の宝もの」の選定や、ブラッシュアップの取組を支援することで、本県を代表する観光資源の底上げにつながっている。</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>コロナ禍において世界中でSDGsへの関心が高まる中、本県がアフターコロナにおける「選ばれる旅先」となるためには、サステイナブル・ツーリズムの観点による「岐阜の宝もの」等の磨き上げが不可欠。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>認定委員会（有識者）による現地調査や、新たな認定基準についての協議など、本県のサステイナブル・ツーリズム推進に向け着実に事業を進められている。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>コロナ禍において、認定委員会のオンライン開催や、現地調査の内容を凝縮するなど、臨機応変かつ効率的に実施できた。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 持続可能な観光地づくりに対する地域の理解促進及び機運醸成</p>

(次年度の方向性)

<p>引き続き、新たな認定基準に沿った「岐阜の宝もの」等のブラッシュアップの取組を支援するとともに、新たな「岐阜の宝もの」のプロモーションを展開する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	